

# 学び舎ユネスコ News no.13

2018年3月発行

【発行】学び舎江戸東京ユネスコクラブ

事務所：〒187-0032 小平市小川町 1-904-56

<http://www.unesco.or.jp/manabiya/>

E-mail: [manabiya@unesco.or.jp](mailto:manabiya@unesco.or.jp)



## 「第12回学び舎ユネスコ教養・文化講座」を開催

2月25日(日)午後1時半より小平市中央公民館において、標記の講座を開催しました。数日前からの天気予報では厳しい寒さが再来とのことで、来場される皆さまの健康への影響を心配していましたが、当日は穏やかな天候となり、いつもながら沢山の参加者をお迎えしての講座となりました。さて今回の講師は、小坂克信先生です。



講師：小坂克信氏



小坂先生は、多摩川、玉川上水とその分水、そして地域の食生活をささえた水車の技術などの研究活動と多数の著作で多くの方々から信頼を得ておられます。私共、学び舎ユネスコが取り組んでいる玉川上水と小平分水網の調査と資料作成でも、小坂先生の著書から学ぶ事柄が多々あり、より多岐に、より深く学ぶには講師としてお招きして直接にヒヤリングする必要を感じておりました。

← 武蔵野台地の遺跡分布図(水源の近くに多く分布)

鈴木用水と大沼田用水の分岐↓

講座のテーマは「玉川上水と分水の役割—小平市域を中心に—」です。講義は、次の内容です。

- ① 玉川上水が開削される前の武蔵野台地の開発
- ② 玉川上水の開削に続く野火止用水、小川分水の開削と新田開発
- ③ その後の享保の改革で多数誕生した新田と分水の水利用
- ④ 天候の不順による作物被害が生じるものの作物の収穫が倍増したことで分水を利用した水車が設置され製粉事業を開始。江戸の米穀問屋との衝突
- ⑤ 黒船来航による軍事力強化の施策—大砲・火薬製造—のために玉川上水の水量を増やす施策とした「玉川上水の帰流」が開始
- ⑥ 玉川上水の通船と分水の統合
- ⑦ 明治初期に分水を工業用水として利用開始
- ⑧ 分水の今後

- ・ 普段は、環境用水、緊急時の消防水利として利用する施策を
- ・ 歴史調査：人々の生活を支えた地域の水利用の歴史を調査し明らかにする
- ・ 現状調査：残された雑木林などで、生き物の観察など体験的な環境学習
- ・ 教材の開発：小学校の理科や社会科、総合的な学習の内容に



以上、研究レベルを市民学習レベルまでに展開された内容の充実した講座でした。終盤の質問会では、分水路保全の行政との協働、分水統合前の取水口の位置など、普段の活動に根差した質問が多数あり、参加された方々の熱心さをうかがい知ることができました。最後まで、熱心にご参加・ご清聴いただきましてありがとうございました。

### 「2018年度総会及び記念講演会」のお知らせ

2018年5月27日(日) 13:30～ 総会・14:20～ 講演会・15:20～ 活動交流会

演題：「春の小川とまちづくり」 講師：小松 隆二氏(学校法人白梅学園理事長)

会場：小平市小川公民館 2階 ホール 入場無料